

宮城県山元町で秋祭り!医学生 11 名が参加!

2014年10月4日、5日、宮城県県南支援が行われ医学生 11 名が参加しました。

今回の支援では、医療生協連が継続的に支援に入っている宮城県山元町で、被災集落のコミュニティー再生を目指して『秋祭り』を行いました。

■ 秋祭りに医学生がかけつける!

会場は震災で大きな被害を受けた旧 JR 山下駅前で、地元の方を中心に 500 名の参加がありました。焼きそばや玉こんにやくなどの屋台が並んだほか、足湯やマッサージ、子ども向けの遊戯コーナー、放射線測定も行われました。医学生グループは、会場設営や撤去のほか、「子どもコーナー」を担当。シャボン玉や型抜き、とすけ（くじ引き）などを受け持ち、どれもすぐに完売となるなど、地域の子どもたちに大変盛況でした。

■ 本当の復興とは ～現地の方のお話を聞きました～

支援後、地域の健康作りに関わる活動をされている渡辺さんから、被災地の現状についてお話を伺いました。その中では、経済的な理由などから、特に高齢者が仮設住宅から生活再建出来ないケースが多いこと、一見元気そうに見えても、みんな心には深い傷を抱えながら生活していることなど、まだまだ真の復興には程遠い現状があるということが強調されました。

■ 今、自分にできること

参加した学生からは、「まだまだ問題は山積みだが、止まない雨はないと信じて、定期的にこさせてもらいたい」「TV で見ていた復興の違いを感じました。震災の傷跡はまだ癒えていない。これからが大切」「笑顔で元気の印象持ちましたが、根底には震災の苦しみや悲しみが…今の自分に何ができるか考える必要性を感じました」などの感想が出されました。

大阪民医連では引き続き震災支援に参加し、被災地に向けて「何ができるか」を模索していきます。

当日の行程	
<u>1 日目</u>	<u>4 日 (金)</u>
21:00	仙台空港到着
22:00	事前学習、ミーティング
23:00	就寝
<u>2 日目</u>	<u>5 日 (土)</u>
6:30	被災地の見学
7:30	ミーティング、会場設営
9:00	子どもコーナー運営など
14:30	撤収作業
15:30	被災地の見学、感想交流
17:30	仙台空港出発